※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	Music　Note　（啓隆社）　音楽通論　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■歌唱、ソルフェージュ、楽典、鑑賞を１年間で学びます。
■学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
■音楽系進学に向けて、ソルフェージュ、楽典を学習します。
■生涯にわたり音楽に親しむ態度を育みます。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて音楽的な見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質、能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

（２）　自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

（３）　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ソルフェージュ	【歌唱】 新曲視唱、視奏の練習	a:リズムや音程を理解して歌い演奏ができる。 b:のびやかな声で、十分に響かせながら表現できる。 c:新曲視唱、視奏に主体的に取り組もうとしている。	授業観察	授業観察	パフォーマンス課題
	外国の歌曲を歌おう	【歌唱】 ドイツ、イタリア、フランスの歌曲を原語で歌う ・発声や発音を学ぶ	a:リズムや音程を理解し、意識して歌うことが出来る。 b:歌詞の内容を把握して創造的に表現することが出来る。 c:外国の歌曲に関心を持ち主体的に取り組もうとしている。	授業観察	演奏聴取	授業観察 パフォーマンス課題
2学期	音楽理論を学ぼう	【楽典】 ・音程 ・音階と調 ・リズムと拍子 ・和音 ・楽語	a:楽譜を見て理論的に理解し演奏できる技能を身につけている。 c:音楽理論に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート		授業観察
	ミュージカルを鑑賞し歌おう	【歌唱】 《レ・ミゼラブル》から 夢やぶれて 民衆の歌 ・ミュージカルを鑑賞して時代背景や歌の内容を学ぶ	a:付点八分音符や 3 連符などのリズムを理解し歌うことが出来る。 b:歌詞の内容や心情をイメージして歌うことで表現している。 c:ミュージカルに関心を持ち、歌うことに主体的に取り組んでいる	授業観察	授業観察	パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

３学期	西洋音楽の鑑賞	【鑑賞】 バロック・古典派・ロマン派から現代にいたるまでの流れを学ぶ	a:時代背景と作曲家の関係性を理解している。(知識) b:曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、良さや美しさを味わって聴いている。 c:西洋の音楽の流れを理解して主体的に鑑賞している。	授業観察	授業観察	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度